

私の卒業論文プラン

手がかり文献

山下祐介『地方消滅の罫 ―「増田レポート」と人口減少社会の正体』筑摩新書、2014 年

きっかけ

私は大学を卒業したら生まれ育った地元に帰りたいという思いがあり、地方が置かれている状況について関心があった。また、かねてからの状況に加えてコロナウイルス感染症の大流行によって地方の経済やそこに住む人々の暮らしはこれからどうになってしまうのか、とこれから長い間生活をするため興味・関心を持った。

要旨

序章 地方消滅ショック

第 1 章 人口減少はなぜ起きるのか

1. 人口のつくられ方
2. 暮らしの側から出生数低下の原因を探る
3. 不安の悪循環が始まっている

第 2 章 地方消滅へと導くのは誰か

1. 象徴としての学校統廃合問題
2. 新たな地域開発の素顔
3. インフラの撤退が地域崩壊を導く
4. この路線は変えられないのか

第 3 章 「選択と集中」論の危うさ

1. 増田レポートが目指すもの
2. 選択がもたらす排除の論理
3. 本来、選択すべきものはなにか
4. グローバル化の中で

第 4 章 多様なものの共生へ

1. 何と何の対立なのか
2. 現状認識と方向性
3. つくるべき多様な問題解決回路
4. 社会実験モデル事業による問題解決への試行錯誤
5. 自治を通して問題と真摯に向き合う

第5章 「ふるさと回帰」は再生の切り札となるか

1. 人口減少への自治体対応を振り返る
2. 様々なふるさと回帰
3. UJI ターン論をめぐって
4. 複数地域所属という新しい姿

第6章 持続する制度を生み出す

1. 多様性を認め合う新しいゲームの創生へ
2. 住民とは誰か
3. 「第二の住民」でできること
4. 「財が財を呼ぶ」から、「生きているもの」の論理へ

終章 新しい社会を選べるか

調べたいことや解明したいこと

1. これまでの地方と暮らす人々の様子
2. これからの地方と暮らす人々の展望
3. なぜ人口が減っていつてしまうのか
4. 地方は消滅してしまうのか
5. 地方経済において重要な存在（企業など）
6. コロナが与えた影響と対策
7. 地方の魅力とアピール
8. 私たちができることは何かあるか

卒論題名（仮）

これからの地方で暮らすためには

参考文献一覧

1. 宮崎雅人『地域衰退』岩波新書 2021 年
2. 小田切徳美『新しい地域をつくる』岩波新書 2022 年
3. ジェイコブス、ジェイン（中村達也訳）『発展する地域 衰退する地域／地域が自立するための経済学』ちくま学芸文庫 2012 年
4. 増田寛也編著『地方消滅 東京一極集中が招く人口急減』中公新書 2014 年
5. 増田寛也『地方消滅 創生戦略篇』中公新書 2015 年
6. 久保哲朗『47 都道府県の偏差値』小学館新書 2018 年